

「夢の実現」

校長 狩野 裕之

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、保護者の皆様、地域の皆様には本校の教育活動に御理解と御協力をいただき誠にありがとうございました。本年も変わらぬ御支援を賜りますようお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた取組は変わりませんが、今年こそは、コロナに煩わされない一年であってほしいと願っております。

さて、「一年の計は元旦にあり」ということわざがあります。新年を迎えて、それぞれの御家庭では、この一年の計画や目標を立てられたことでしょう。このことわざは中国、明代の官僚で学者でもあった馮應京という人が、中国の伝統的な年中行事や儀式、しきたりなどを解説した『月令広義』という本に著した以下の内容が元になっているようです。

一日の計は晨(あした)にあり(一日の計画は朝に立てることが大切である)

一年の計は春にあり(一年の計画は元旦に立てることが大切である)

一生の計は勤にあり(一生の計画は勤勉であることで決まる)

一家の計は身にあり(一家の将来は、健康で決まる)

物事を始めるにあたっては、最初にきちんとした計画を立てるのが大切であるということの意味しています。これは一生においてもいえることです。「一生の計画」は、よく働くことで決まるそうですが、それでは、どんな仕事をするかはいつ決めるのでしょうか。

江戸末期の安井息軒という儒学者は『一生の計は少壮(若くて意気盛んな時期)の時にあり』と言っています。青年期に生涯で為すべきことを考えておくことが大切であるということでしょう。

そこで私が思い出したのは、6年生の担任をしていたときのキャリア教育の授業です。講師の稲垣博さんが、子供たちに「夢の実現」というテーマで以下のような話をしてくれました。

○「夢」と「願い」との違いについて

・「夢」は「(自分は)こうなりたい」と思ったことを自分で叶えるものです。

・「願い」は「こうなってほしい」という七夕の短冊に書くようなことで、自分以外の誰かに叶えてもらうものです。

・だから、まず将来の「夢」をしっかりとちましましょう。

○「夢を叶える」実現計画を立てましょう。

・「夢」が決まったら、なるべく具体的に計画を立てましょう。

・まず、何歳でその夢が実現できるかを決めます。

・次にその1~3年前までに何をしておくか、何が必要かを考えます。

・さらに、5年、10年前……とそれぞれの時期で何をしておくか、何が必要かを考えます。

・このように逆算して計画を立てていきます。

・最後に中学校の3年間に何をしておくか、何が必要かを考えて完成です。

おおよそ、こんな内容でした。実は、昨年大活躍した大谷翔平選手も小学6年生のときに自分自身の野球人生について計画を作文に書いたそうです。もちろん、彼は、計画を立てて終わりではなく、努力を重ねながらその通り実行して、見事に夢を叶えたことは、多くの皆さんが御存知でしょう。まさに「一生の計は少壮の時にあり」ではないでしょうか。

長期的にせよ、短期的にせよ、物事を始めるにあたっては、最初にきちんとした計画を立てることが大切です。学校は令和3年度の後期の後半が始まり、今年度もあと3か月を残すのみとなりました。学校は、これから令和4年度の教育計画をしっかりと立ててまいります。

今月の目標

生活目標	健康と安全に注意しよう
保健目標	寒さに負けずに元気に過ごそう
給食目標	好き嫌いをしないで残さず食べよう
美化目標	掃除用具入れとぞうきん掛けの整理整頓をしよう
1年で1番寒い時期となりました。学校では、引き続き感染予防のための手洗いを促すとともに、換気や加湿器の使用も行い教室の環境を整えます。また、外遊びや新しく完成した体育館の使用を通して、元気に過ごせるよう促します。気持ちを新たに、良い1年のスタートとなるようにしましょう。	

1月の行事予定

11日(火) 後期後半始 委員会活動 安全指導日
12日(水) 席書会(～13日)
15日(土) 土曜授業日 道徳地区公開講座 校内書初展
17日(月) クラブ活動(3年生見学) 避難訓練
身体測定(～22日)
19日(水) 区長とのタウンミーティング(6年生)

21日(金) 4時間授業 校内書初展終
小学校連合作品展書初め(～24日)
26日(水) 4時間授業
持久走旬間始 持久走集会始
小学校連合作品展・図工(～31日)
28日(金) 新1年生入学説明会
31日(月) クラブ活動

心の教室相談員 11日(火)・14日(金)・18日(火)・21日(金)・25日(火)・28日(金)

スクールカウンセラー 13日(木)・20日(木)・27日(木)

4年生 GLOBAL GATEWAY

11月16日(火)、4年生はGLOBAL GATEWAYで英語体験を行ってきました。海外をイメージして作られた施設内でいつもと違う環境の中、英語だけを使ってグローバルな世界を満喫してきました。8人程度のグループに外国人の先生が1人ずつ付き、ホテルやクリニック、ファストフードを模した施設を回りました。始めは緊張した様子でしたが、「間違っても大丈夫!」「身振り手振りでも通じることがある!」と言うことが分かり、自分からコミュニケーションをとる姿が見られました。
(4年 中村和美)



なわとび旬間

11月29日(月)～12月10日(金)に、なわとび旬間を行いました。今年も密を避けながら実施しました。寒い日もありましたが、目標達成に向けて、さまざまななわとびの技に挑戦し、元気よく体を動かすことができました。

12月1日(水)には、生山ヒジキさんをお迎えして1・2年生なわとび教室を行いました。生山さんは世界大会の優勝やギネス記録をお持ちの日本唯一のプロなわとびプレイヤーです。世界大会で行ったプログラムの他、5重跳びなどを見せていただきました。超人技の数々に拍手喝采でした。その後は学年ごとに45分間のなわとび教室を行いました。跳び方や縄の回し方のコツを教えてもらい、全員が興味をもって取り組んでいました。なわとび教室の後には多くの児童がなわとびをして遊んでいました。



(体力向上委員会 今泉洸人)

道徳授業地区公開講座

11月15日(土)に道徳授業地区公開講座を実施いたします。各学級で道徳の授業を1時間ずつ公開いたします。今年度は、感染症予防のため、講演会や意見交換会は実施いたしません。来年度は、実施し、たくさんの方に御参観いただけることを願っています。

詳しくは、後日配布される「学校公開について」の便りを御覧ください。(道徳推進 佐々木美代子)

WFP 募金

代表委員会児童の主催で11月にWFP募金活動を行いました。2日間の日程で校門に代表委員会児童が立ち、登校する児童に声をかけ募金を呼びかけました。

その結果、募金総額は、昨年度を上回る108,001円でした。世界で飢餓に苦しむ人々のために役立てられます。御家庭でも話題にいただいたことと思います。御協力をいただきありがとうございました。

(代表委員会担当 門脇あずみ)